



SFS通信

平成27年(2015)3月15日発行

日本ボーイスカウト新潟連盟

スカウトフェローシップ委員会

編集長 杉山 剛

〒959-2658胎内市西条602-11

TEL & FAX 0254-43-4879

事務局 〒951-8052 新潟市中央区下大川前通4の町

TEL 025-229-5454 FAX 025-229-5446

県連理事会(1月18日)より 勝手報告

23WSJ

派遣隊指導者(新潟・長野合同隊)

<参加隊>

隊長 今井 浩二 (加茂1)

副長 小柳 真人 (加茂1)

副長 田中 哲郎 (白根1)

副長 青木 桂子 (長野・松本6)

<サブ派遣>

岡本 学 (豊栄2)

関川 憲司 (阿賀野1)

<IST>

伊藤 聡 (新潟5)

大関 ゆかり (新潟5)

小菅 晃太郎 (新潟7)

<後方支援>

清水 修 (新潟16)

土田 高義 (燕1)

参加スカウト

BS・VS 32名 (男27 女5)

VS・IST

VS 3名 (男3)

参加スカウトは、新潟隊と長野隊の合同

サブキャンプの名称は FUJI1

派遣隊用フェイスブック

10月14日に立上げ。

県連HPからリンクできます

新制服

6月目途で配給予定。

事前訓練等日程

1月25日(日)

隊集会(新潟)

5月2日(土)~3日(日)

新潟・長野合同の隊集会

(巻 入徳館)

7月5日(日)

隊集会(新潟大畑)

派遣日程最新版

7月28日午前新潟空港出発

→福岡空港→バスにて現地へ

7月29日 開会式

8月2日 全体行事

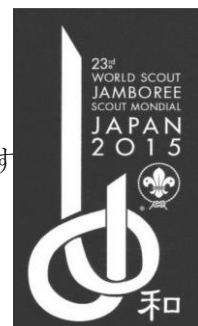
8月7日 閉会式

8月8日 外国参加隊撤営支援

8月9日 見学小旅行出発

(秋吉台・松下村塾・石見銀山・姫路城・伊丹空港)

8月10日 新潟空港夕方着



加盟登録状況(平成26年12月)

	BVS	CS	BS	VS	RS	計
隊数	18	25	26	16	7	92
指導者	33	78	87	35	7	240
スカウト	72	181	161	54	14	482
計	105	259	248	89	21	722

		対前年 比
団数	28	-3
隊数	92	-5
加盟員数	917	-108
スカウト	482	-65
指導者	240	-35
団員	178	-1
スカウトクラブ	15	

菊章認証 (隼・富士は該当なし)

山田 晟司 君 (新潟15)

水澤 佳暉 君 (新潟15)

神林 勇輔 君 (新潟15)

新顧問就任

富樫 一成 氏 が就任されました。

県議会議員 胎内市在住

中条第一団育成会員

平成27年度予定(抜粋)

年間計画作成用に少し先走ってお伝えします。

GAT 4月25日(土)~26日 みつき沢

BSラリー 6月28日 中越地区

BVS・CSラリー 9月6日 新潟地区

WB研修所(BVS) 5月3日~5日 糸魚川

スキル訓練 5月23日~24日 みつき沢

安全セミナー 6月14日 糸魚川

野外プログラム研修会 五頭

屋内プログラム研修所 新潟(大畑)

スキル訓練(救急法) 新潟(大畑)

第1回世界ジャンボリーに参加した下田豊松

県コミッショナー 本間 清(弥彦1)

「スカウトを減らさない為の広報講座」も今年で三年目となり今年には矢島 巖さんを講師に迎え基調講演「B-Pの生涯とスカウト教育法」のテーマで講演をいただきました。ご自身が直接指導を仰いだ先師、先輩の功績と各地のスカウト遺産を訪ね取材した講演でした。

その中には、我々が敬愛する故鹿野 重先生の功績や日本連盟、日本ジャンボリーでの活躍、更には日本連盟の機構改革に熱い情熱をもって携わった事等、懐かしく、感慨深く拝聴させて頂きました。

今年には第23回世界ジャンボリーが山口県さら浜で開催されますが、第1回世界ジャンボリーに参加した北海道岩内少年団の下田豊松氏のお話は特に印象深く拝聴いたしました。下田豊松氏は北海道虻田郡倶知安町で晩年過ごしましたが、実は私の長男のお嫁さんの実家が倶知安町です。そのご縁で下田氏を身近に感じ改めて下田豊松氏の功績を振りかえりたいと思います。



＜広報講座を終えて＞
(前列右3人目が矢島講師)

下田氏は大正5年に岩内少年団を設立しましたがそれは、岩内を訪れた当時の陸軍師団長・宇都宮太郎の勧めでした。(当時28才の青年に軍の高官の強い勧めと言うのは、励まし・激励と言うより強要だったのではないのでしょうか)

新聞で世界ジャンボリーの開催を知り、東京の小柴 博氏と連絡を取り、自費で参加する事を決意しました。当時、ロンドンまでは約2か月の船旅で資金は兄弟(4名)から借り集め、不足は父・仁三郎が財産を抵当に一万円(当時の岩内町長の月給は百円ぐらい)を用意したと言う事です。相当な覚悟と命がけの決心で出発した事でしょう。

大正9年(1920)、小柴氏と二人で出発し、船内で制服を着た鈴木 慎少年と出会い、三人で第1回世界ジャンボリーに参加いたしました。

少年団日本連盟は大正11年(1922)に発足していますが、その二年前の事です。参加した世界ジャンボリーでは思いがけない大歓迎を受け、ベーデン・ポウエル卿と親しく会話しスカウトスピリッツを体得いたしました。

帰国後、北海道内はもとより東京まで約100回以上の講演に赴き、ジャンボリーの報告と少年団設立を訴えました。それまで日本には全国的な組織がありませんでしたがB-Pとの約束で日本健児団を結成し国際登録を自費で行いました。そして、自らを日本のチーフスカウト(総長)として申請し、B-Pから認証されました。

その後、洋蹄山麓倶知安高原を基盤に少年団活動に専念され、スカウト章を創作(戦前まで日本のボーイスカウト章でした)、下田氏の推薦で第2回世界ジャンボリーへ道内から4名のスカウトを派遣。大正11年に北海道ジャンボリーを開催し、当時の皇太子のご臨席を仰ぐなど数々の功績がありました。

一時は在郷軍人の責任者として公職追放となりスカウト活動から距離を置いていましたが、昭和30年9月には指導者養成講習会のため北海道を訪れた中村 知氏と面談し、遅まきながら39年には日本連盟から「先達」の称号が送られました。また、下田氏(87才)は千歳原での第6回日本ジャンボリーで皇太子殿下よりお言葉を賜る栄誉に浴しました。

創成記、勝手?に「総長」と称したのが疎んじられたのか、公職追放が原因なのか、定ではありませんが中央から遠く離れた北海道で、組織のバックアップもなく、日本のスカウト運動を支

えた功績は多大です。北海道と言う広大な自然の中で育んだ開拓者精神、フロンティアスピリッツがその原動力なのか、今日の我々もその精神を学ぶ必要があると思います。

尚、下田豊松氏の資料は倶知安町の下田宅にありましたが現在は北海道連盟事務局に陳列されてあります。P-B自筆の書簡や当時の記事等があり、一見の価値はあります。



また、倶知安から岩内に通じる道道456号線沿いに下田氏等が見つけた「神仙沼」があります。木道も備えられ駐車場から約10分程度でそこに到着できます。高山植物や赤エゾ松に囲まれ、静寂のなかにひっそりとたたずむ姿は正に仙人が住んでいるようです。近くには「神仙沼」の由来が書かれた営林局の看板があり下田氏の名が記してありますので是非一度訪れて下さい。

以上
平成27年3月4日

1月31日～2月1日 スカウトを減らさないための広報講座Ⅲが三条市で開催されました。その概要をお伝えします。一日目は矢島巖氏による講演。題名は”B-Pの生涯とスカウト教育法”と言うものでしたが実際のお話は先人の熱意あふれるスカウト教育への取り組みを10例もの多くの事例を挙げ具体的に教えて戴きました。期待以上の内容で、参加者は等しく心に深く受け止め自分のエネルギーとなるよう大切に持ち帰られたようでした。

この報告では充分にお伝えすることはできません。出来ましたら矢島講師が6年間かけてまとめられた【世界のスカウト遺産百選】を直接お読みいただければと思います。(下記参照)

B-Pの生涯とスカウト教育法

神奈川連盟参与 矢島 巖 氏

(1) B-Pが目指したもの

全ての活動はopen-airで行え。
指導者自身も成長する共育であれ。
平和の騎士を目指す。
米国の初代総長トムソン・シートンの理想は
”ウッドクラフト実践による子どもの成長と共育”
自然信仰を基礎とした教育で地球市民を育てる。

(2) ボーイスカウト運動への期待

明治政府は男子に忠勇心愛国心強健な心身
女子に良妻賢母を求めた。
B-Pの明治40年(ブラウンシー島キャンプ)
明治41年(SFB出版)の直後、日本でもスカウト運
動の導入が提唱されたが実現しなかった。明治44
年乃木大将がB-Pと会見。

(3) B-Pの来日

明治44年横浜にスカウト隊発足し明治45年来日し
たB-Pを驚かす。大正2年以降全国各地に少年
団が、大正9年日本女子補導団も発足した。

(4) 始祖総長 下田豊松の勇断

大正5年岩内少年団結成。大正9年第一回世界
ジャンボリーに3人(下田・小柴・鈴木)参加。そこで
のB-Pとの約束を果たし大正11年日本健児団を
国際登録し併せて健児団徽章(鏡・剣・壺)も登録
した。そして第二回世界ジャンボリーに隊として参
加。その後少年団日本連盟をスタートさせた。

(5) 初代総長 後藤新平の躍動

”自治三訣”や”遺すものが金は下、事業は中、人
は上”はよく知られていますが、少年団の真価は
国家の土台石であり社会の柱であるとし力を注い
だ。ボーイスカウトの真の目的は世界平和に貢献
することと説く。大会での挨拶原稿が長大であるこ
とからもその熱情が伺える。

(6) 佐野常羽と指導者連

伯爵の地位にあったが三顧の礼をとり京都少年義
勇軍を指導する中野忠八氏に教えを請い英国ギ
ルウェルに三度も参加しその学びに情熱を傾けた。
大正2年第二回指導者実修所を山中湖畔で開催。
(新潟連盟鹿野重の父君も参加)低く身をかがめ
て入る道心門を設定。80人参加。
参加者とサークル(不二畜社)をつくり研究の成果
を『少年団研究』にまとめた。

B-P直伝に日本の心を肉付けた。座学なし、班
競争、小さな声で叱り大きな声で誉めよ。

(7) 三指礼の危機と潜行のB-P少年団

昭和7年三指礼はユダヤ民族の真似だとして反対
する主張がされた。軍部主導であったが多くの団
がそれを受け入れ日本連盟から離れて行った。
昭和9年少年団日本連盟海洋部が義勇和爾丸(2
78T)で東南アジア一周する。
昭和16年解体し大日本青少年団に統合された。

(8) 戦後復活の苦節と先師

GHQにもスカウト出身が多く(マッカーサーも同じ)
ジャバンタイムズ記者村山氏の努力もあり昭和24
年財団法人として復活し9月に全国大会を行い無
届け日の丸行進を行った。初代総長は三島通陽。
スカウト章はユリの花と鏡そしてモットーからなる神
鏡スカウト章が昭和22年に制定された。
昭和22年復活の日本連盟最初のPR用リーフレッ
トには“少年は明日の世界をつくる”とある。
SFBが翻訳されたのは昭和32年。第27版(1952)
で中村知先達による。

(9) 花開いた20世紀の栄光と21世紀衰退の軌跡

昭和31年軽井沢で第一回日本ジャンボリー。吉川
英治は「太陽の子 ここにあり」と表現した。当時は
四角いチーフを半分に分けていた。
サトーハチローの詩”からだでおぼえたものはなれ
ない”がスカウト活動の本質を表している。これは
月の輪ハンドブック(昭和43年)にある。(次頁参照)
元新潟連盟理事長鹿野重は警鐘を鳴らした。

スカウティングの教場は野外。

組織の暴走と運動の危機。

組織より原隊が大切。ボトムアップが大切。

運動と組織の経営は異なる。

指導者訓練法の錯誤を糺す。

スカウティングの主役は少年。

遺作”21世紀！B-Pは生きている！！”は

スカウト道の羅針盤である。

(10) スカウティングに未来はあるか

あえて、……略

輝かしい未来に繋がる活動をしましょう

この報告を書きながら絶望的になりました。矢島講師から伺った時の感動が湧き上がってきません。講師の肉声と小さなエピソードから感じた先人の熱意をお伝えできないのです。どうか直接原本をお読みください。

【世界のスカウト遺産百選】は書籍が完売し現在はありません。代わりにCD化されたものがあります。下記へご注文ください。(単価 約1000円)

環境共育グループ ビスタワールド 主宰 矢島 巖 氏

vistaworld21@yahoo.co.jp

からだでおぼえたものはなれない

サトーハチロー

手でおぼえる
足でさとり
目にやきつける
胸にしみこます

ボーイスカウトの仕事は
すべてこれだ これなんだ

水くみひとつにも
上手下手がある
米をとぐのも
めしをたくのも
玉ねぎをきざむのも
ジャガ芋の皮をむくのも
遊び半分では
できない できない

なれない仕事で
涙ぐむと
母の顔が浮かび
力のいる仕事で
へたばると
父の笑顔が見える
われとわが身を
はげまして
情けなさがあふれてきて
あたりの風景に
もやをかける

のりこえろ のりこえろ
からだでおぼえたものは
からだからはなれない
はなれない

手でおぼえる
足でさとり
目にやきつける
胸にしみこます

満身に
つとめを果たした夜の
キャンプファイアーの火は
すばらしい
静かにじっと眺めていると
さわやかな
ほんとうに さわやかな虫の声が
首にしみこむ
背なかにしみ通る

広報講座の二日目は阿賀野第1団BVS隊長後藤十司雄氏による“阿賀野第一団の活動報告”でした。
後藤氏は平成22年に愛知県から新潟に転居され、以降下越地区阿賀野第一団でBVS隊長活動されておられます。更に地区副コミッショナーとして下越地区のスカウト活動を牽引されています。阿賀野第一団における着実なスカウト増をどのようにして実現してこられたかを伺いました。

阿賀野第一団の活動報告

後藤十司雄(阿賀野1)

班集会・組集会を確実にやろう！！
スカウトの自発性をいかに引き出すか！！
スカウトの計画を実現させるのが指導者の役目
組集会は班集会の基礎
指導者の我慢が大切

保護者の参加 ⇒
⇒スカウトのテンションアップ⇒
⇒保護者も楽しい
保護者の参加を促すため
① 二カ月に一回舎営野営を行い
保護者の活躍の場を作った。
同時に保護者会を行い状況説明も行った。
② 入団案内のコピーを保護者に配ってもらった。
クリアファイルに入れて捨てられ難くした。
③ 参加した保護者には
役割以外は 口を出すな！手を出すな！
帰宅後、子供を叱るな！

地域に姿を見せてアピールした。
① 奉仕活動(道路掃除・募金)
② 活動で市バスに乗る。

活動のレベルアップ
活動の評価を必ず行う。
今日は楽しかったねではダメ。
今日の集会の目的は何だった？
ちかいとおきての実行はできたか？

BVSでは
挨拶はハイタッチ
最初の30分は野放しで観察する。
誉めることを探しその場で表彰する。

CSでは
BSの姿をCSに見せる。⇒憧れ

BSでは
班長に聞け！

指導者不足について
スーパーマンは要らない。
みんなでやろう！ みんなでやれるようにしよう！

故杉山晃氏(前SFS委員会相談役)はSFS委員会創設時大変なご尽力をされました。氏はSFS通信編集委員でもあり、編集会議で折りに触れ創設当時の思い出話を伺っていました。是非記録に残して戴きたいとお願ひし、元気になったら創設時のメンバーである遠藤安一氏(長岡1)と一緒に書こうとお返事をいただいていた。残念ながら昨年10月にお亡くなりになられました。葬儀の折、遠藤氏にお会いし経緯をお話しお願ひしたところ快諾をいただきました。

遠藤氏ご自身体調を管理されながらの作業でしたが、精力的にまとめて戴きました。SFS委員会にかける熱情に驚かされると共に、SFS委員会のあり方等についての貴重な資料ともなる創設のいきさつをいただいた事に心より感謝申し上げます。

スカウトフェローシップ(SFS)誕生の経緯

SFS委員会相談役 遠藤 安一

はじめに

1907年創始者ベーデン・パウエル卿がイギリスのブラウンシー島で20人の少年たちと実験キャンプを行い、この経験を基に翌1908年「Scouting for Boys」を出版し、ボーイスカウト運動が始まった。スカウト運動のすばらしさが、青少年育成関係者に理解され、瞬く間に世界に広く認められるようになった。世界スカウト機構(WOSM)には、162の国と地域のスカウト組織が正式加盟し、3,600万人以上のスカウトたちが活動している。(未活動国: アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオス、ミャンマーの6か国…2012年12月WOSM資料)

SFS委員会相談役 杉山 晃 氏が2014年(平成26年)10月18日ご逝去されました。

杉山晃氏はSFS委員会の立ち上げから関与され、初代委員長として終身までSFS委員会の発展のために献身的に真剣に取り組まれました。『心から感謝をこめてご冥福をお祈りいたします』

10月22日告別式参列当日、SFS委員会委員長星 栄一、編集長 杉山 剛 両氏から標記の経緯について草稿の依頼を頂きました。

私自身のスカウト人生を振り返り再確認も含めて、SFSの活動が一步でも前進することを願って執筆しました。

I 世界の機構改革の動き

1922年(大正11年)7月 フランス・パリに各国の正式代表者が集まり、世界中のスカウト運動のために「国際スカウト会議」が開催され、執行委員会と事務局を設置した。

現行「世界スカウト機構 憲章」はスカウト運動の世界機構の運営の基準となっている。

1961年(昭和36年) ポルトガル・リスボンにおいて、第18回ボーイスカウト国際会議が開催され、国際会議規約の改正が行われ「アダルトリソーシスの導入方針」が議決された。

同会議において「国際会議」の呼称を「世界会議」に改正し、従来からの名称に国際の付いた「国際○ ○」は、全て「世界○○」とすることに決定した。

II 日本連盟 教育本部機構改革の推進 (抄録)

1 スカウトクラブ組織の設立と会員登録

* 1990年 平成2年度年次全国会議において、各県連盟にスカウトクラブ設立の奨励が承認された。同会員の登録手続きの方法を決定し、翌1991

年(平成3年)度から実施することとした。

- * 日本連盟の長い歴史のなかで、過去にスカウト、リーダーとして籍のあった者が2000万名(非登録者・OB)を超えていると言われている。これらの人々に仲間として参加者を募りスカウト運動へ支援を仰ぐことを目的として「スカウトクラブ」が導入されたものである。
- * スカウトクラブ会員の加盟登録は任意である。教育規定 第2章 2-5 次の者は、加盟登録をすることができる。「④スカウトクラブ会員」ただし、加盟登録を希望するときはその関係組織を通して手続きを行う。

(平成22年4月1日 日本連盟教育規程制定)

2 アダルトリソーシスの方針を導入するための検討

1998年(平成10年)10月10日開催の中央審議会は、運営委員会・専門委員会等を整理統合し新しく常設委員会を設置する教育規定改正案を承認した。改正後の常設委員会はつぎの4委員会である。

総務委員会 プログラム委員会

アダルトリソーシス委員会 国際委員会

2001年(平成13年)3月開催の中央審議会にアダルトリソーシス委員会から「提言資料」『アダルトリソーシス導入計画案の提言』の提出がされた。

アダルトリソーシス方針の日本版の策定と全体的な行動計画の概要等12項目を提出、その内容については、以後の中央審議会で、青少年の参画促進プログラム開発と一体化してのアダルトリソーシス計画の推進を検討することとされた。

III 新潟連盟 機構改革の基本方針について

1 実施趣旨

1949年(昭和24年)新潟連盟結成以来、幾多の変遷を辿りながら2000年(平成12年)新潟連盟結成50年を迎え「日本ボーイスカウト新潟連盟結成50周年記念式典」を開催した。

同記念事業「日本海大会」「記念海外派遣」「新潟連盟50年史編纂」の三事業を新潟連盟の力を総結集して成功裡に実施完了した。(2000年～2003年)

新潟連盟結成50年の意義有る節目に、21世紀を展望し得る抜本的機構改革により、新しい新潟県のスカウト運動を刷新し力強く推進したい。

2 機構改革の基本方針と骨子

- (1) 2002年(平成14年)6月年次総会に、「新潟連盟規約改正案」を上程承認を求めため「新潟連盟機構改革・新潟連盟規約改正特別委員会」を構成し、準備作業を進める。
- (2) 現行の6運営委員会・4特別委員会・トレーニングチームを整理統合し機構の合理化を図る。
- (3) 役員 の定年制・連続再任の制限を定め、人事の膠着化を防ぎ、新人の登用に道を開く。
- (4) 同定年制の制度が導入された場合、人材の再登用と活用のため、「スカウトフェロシップ」(仮称)の研究検討に入る。
- (5) 21世紀のスカウティングに活動する青少年のニーズを集約し、プログラムに反映させる目的で「ユースフォーラム委員会」(仮称)の立ち上げを準備する。
- (6) 野外自然をバックグラウンドとする活動の基本『体験教育: Learning by doing』を確認し、新潟連盟方式の策定、推進を行う。

IV 新潟連盟機構改革・規約改正作業の進捗状況(概要)

- 1 2001年(平成13年) 機構改革初年度スタート
「新潟連盟機構改革・規約改正特別委員会」を設置、新潟連盟の根本的な改革の推進策定に積極的に取り組んだ。
- 2 同年4月4日 理事会 新潟連盟トレーニングチーム細則審議・同日施行した。
新潟連盟トレーニングチーム(略記 NITT)、県コーターマスター(QM)を細則に明記した。
- 3 同年6月3日 年次総会(加茂市) 新潟連盟機構改革に関する基本方針を提案、承認された。同日開催の理事会に「アダルトリソースポリシー」新潟方式の推進について、提案し、承認された。新潟連盟は、ただちに行動体制をスタートし、県内スカウト運動の成人関与 について、適材適所に正しく行われているかを点検し、日本連盟案に改良を加え、「アダルトリソース・新潟連盟方式」の策定作業を進めた。

V スカウトクラブの現況と課題

1 制度化の趣旨

日本連盟中央審議会議員 元制度委員会委員長 東野一郎(スカウティング1991/9)

スカウトクラブ最大の目的は、スカウト運動に対する支援活動及びその他の支援活動を通して、一人でも多くの人々がコミュニティ活動を楽しんでいただくことにあります。「一度スカウトにちかいをたてたら、生涯スカウトである。」かつて加盟員であった人たちも、この言葉は忘れ難いと思います。スカウト運動から何らかの理由で離れている人達に対してスカウト運動への参加者、協力者として活躍する場を提供することにより運動の活性化を図って いくその受け皿となる「スカウトクラブ」を

設立することが必要であります。要は、一人でも多くのスカウト仲間の結集を図り、ややもすれば沈滞気味の現在のスカウト運動の活性化の一助にしたいのが本音であります。

(1991年7月11日 スカウトクラブ登録第1号は 大阪連盟承認 大阪スカウトクラブ 会員数79名)

2 Q & A

Q:スカウトクラブの組織としての位置付けについて

A:スカウトクラブは、会員相互の親睦等を図るとともに、スカウト運動の支援をはじめ、各種活動を実施する目的で任意に設置された団体であり、日本連盟の組織(団、県連、日本連盟)からは独立した団体です。日本連盟を構成する団体となるわけではありません。しかし、スカウトクラブは、スカウト運動の支援団体としての大きな役割を期待することができるので、各県連盟は、スカウトクラブを組織するよう努めることと定められました。

Q:スカウトクラブ会員の日本連盟登録について

A:スカウトクラブ会員の加盟登録は任意のものです。登録をするか否かは、本人又はスカウトクラブが決定すればよいものと考えます。

ただし、スカウト活動支援の分野は広く行事等でスカウトに接して活動する指導者は、責任を自覚していただくためにも、加盟登録してユニフォームを着用することは不可欠であると思います。

Q:団などのOB会とスカウトクラブの違いは。

A:OB会、会員の中には進学、就職、仕事等のため団から遠く離れて住んでいる人も大勢います。いわば同窓会的会員といえます。(OB会とスカウトクラブの両方に加入可能です。)

スカウトクラブの規約の中に「クラブの目的に賛同する人」を加えることも可能ですが、今、一挙に間口を大きく開くことは混乱を招くことも考えられますので、当分は元スカウトに一応限定しました。

Q:外国のスカウトクラブ組織について教えてください。

A:英国では、過去にOBの組織としてスカウト組織とは独立したBPギルド制度があり、長らく活動してきました。現在は組織の一翼に入りスカウトフェロシップ(地区友の会)として位置付けられています。

18歳以上誰でも会員となることができます。スカウトフェロシップの目的は、成人達が地区スカウト運動の支援、奉仕活動に参加できる組織を提供することにあるとしています。その際、B Sの役務のあるリーダーは各々の奉仕役務を優先することが期待されています。

国際的には「International Fellowship of Former Scouts and Guides」組織があります。

我が国では、スカウトフェロシップは設置されておりませんが今回のスカウトクラブの誕生がスカウトフェロシップの組織化に向けた契機となることも期待できます。

3 県内スカウトクラブの現況

- (1) 平成16年(2004年)4月1日現在 5ヶ団 35名登録
 ボースカウト新潟第5団スカウトクラブ
 設立年月日:平成4年4月1日 加盟員10名
 亀の子(中蒲原7団)
 // 平成6年4月25日 // 7名
 聖騎士会(長岡10団)
 // 平成11年11月14日 // 8名
 小千谷第1団シニオーレススカウトクラブ
 // 平成12年4月1日 // 5名
 ボースカウト長岡第1団スカウトクラブ
 // 平成16年4月1日 // 5名
- (2) 平成26年(2014年)12月22日現在
 下記3ヶ団 15名登録
 ☆ 聖騎士会(長岡10団)9名
 ☆ 長岡第1団スカウトクラブ 5名
 ☆ 新潟第15団スカウトクラブ 1名

VI 教育規程

ボーイスカウト日本連盟は、1951年(昭和26年)に「日本ボーイスカウト憲章」を制定し、その後新組織となった1958年(昭和33年)のボーイスカウト日本連盟の創立総会において「日本連盟規約」に改正し、更に1973年(昭和48年)4月の財団法人改組のための、全国総会において「教育規定」としている。

2010年(平成22年)の公益財団法人への移行に伴い、ここに公益財団法人ボーイスカウト日本連盟「**教育規程**」を制定し、施行する。(平成22年4月1日)

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 定款

第1章 第4条 第3項

ボーイスカウト運動の教育の基本方針及び教育組織並びに教育の基準については理事会の決議により別に定める教育規程による。

教育規程(スカウトクラブに係る規程のみ記載)

第2章 第5条 加盟登録のできる者

(4) スカウトクラブ会員

第4章 第24条 スカウトクラブ

県連盟は、本運動の趣旨に賛同する者を対象として、県連盟内にスカウトクラブを組織するように努める。

第9章 第24条 スカウトクラブ会員の記章

スカウトクラブ会員の襟帽章、正装用の腕章、その他の記章については、指導者のものを準用する。
 ② スカウトクラブ会員は正装上着の左胸ポケットに、クラブが定めた胸章を着用することができる。

VII 英国：スカウトフェローシップ研究 THE SCOUT FELLOWSHIP

新潟連盟副連盟長 鹿野 重 2004/4/1

1 英国スカウトフェロー シップ解説前に

英国は、1908年のB-Pによるスカウト運動創始後、

1924年既にオールドスカウト組織結成の動向がみられ、1924年～1955年にB-Pギルド(B-P GUILD OF OLD SCOUT)が結成されるようになり、更に努力を重ね、B-Pギルドは発展的解消を遂げ、スカウトフェロー シップとして英国スカウト連盟組織の一翼をになうまでに成長した。

今日では全英で組織され、幅広いメンバーを受け入れ、運動の下支えとしてあらゆる部門への支援組織となり、英国のスカウト運動にとって必須の存在となっている。

2 『SFS』の発見

(1)1964年第7回オーストラリア・スカウト・ジャンボリー時に英国及びニュージーランド等の英国圏に早くから組織され、正式登録によるスカウト運動の下支えをしていることが、確認できた。

(2)英国国際キャンプ派遣事業(1962年・1989年・1996年・2001年)に参加の都度「SFS」に関する情報を集め、研究を深めた。

(新潟連盟改革規定に採用された「スカウトフェローシップ」が英国の今日に学び運動の支援組織として成長することを切望したい。)

3 英国スカウトフェロー シップ研究の概要

<趣旨・目的>

スカウトフェローシップ(SFSと略記)は全英で組織され、スカウティングをサポートしたいと思っている成人(18歳以上)によって構成され、英国スカウト運動の下支えを担っている。つまり運動に強力なサポートを提供することにある。

<モットー> [柔軟性と弾力性]

<加盟の恩典>

地方協議会の立場

- ① SFSの構成により地方の動きを理解できる。
- ② 訓練コース・バッジ選考委員・その他の支援を要請できる。
- ③ 全国・地方レベルの支援の裾野を拡大し、安定的な支援を期待できる。

SFS 会員の立場

- ① スカウト運動の中に入り奉仕できる喜びを共有できる。
- ② ジャンボリー・地方大会参加者の資格を得られる
- ③ アウトドアショップなどで正規登録員並みの割引を得られる。
- ④ スカウト保険・障害保険に加入できる。
- ⑤ SFSの活動を通じて友達づくりができる。

<会員資格>

- ① 18歳以上でSFSの趣旨に賛同する健康な男性及び女性
 - ② 現在又は以前の団委員や管理者
 - ③ ベンチャースカウトのOB
 - ④ 時々、SFSの催しに参加したメンバー
- ◎SFS会員の中で、正規の登録を望む者は、「誓い」をたて正規のメンバーとなることができる。

<構成>

構成ベース

- ① 構成のベースは「自由」が原則である。
- ② 団・地区・エリアをベースとしてもよく、技能・趣味などをベースとしたグループでも良い。

<名称> どんな名称[愛称]でも登録できる。

[名称例]

- ① ロンドン〇〇団 スカウトフェローシップ
(団ベース)
- ② レイクウインダミア スカウトフェローシップ
(エリアベース)
- ③ ハンパーリバーカヌーイング スカウトフェローシップ
(趣味技能 〃)

<組織と義務>

- ① 歴史・大きさ・伝統によって弾力的に組織される。
- ② おおよそのSFSは、会長・会計・書記を持つだろう。
- ③ 大きなSFSは「プログラム委員会」を持つ場合もある。
- ④ SFS会員の公式義務は「英国機関紙」の購読申込みをすること。

<SFSの運営>

- ① 団・地区・エリア等をベースとする基本SFSには、所属組織がSFSが、活動し易い環境条件を整えるよう援助することが望ましい。
- ② 団は団委員長が、地区はコミショナー(通常副コミ)が担当する。
- ③ 趣味・技能等特定ベースSFSは、英国連盟のPOR遵守の前提で担当分野の要請に応えられるように常に準備する。
- ④ 特定分野の技能のレベルアップを図るとともに、その分野の規則に精通することがのぞましい。

<其の他権利義務>

- ① SFSメンバーにはユニフォーム着用が許可される。
- ② SFS会員がユースと共同行事をすることは奨励される。
- ③ SFSメンバーは理由の如何をとわず連盟の役務には就けない。
- ④ 人員の上限・下限は自由である。
- ⑤ 地区ラウンドテーブルにオブザーバーで出席できる。

た。(杉山、遠藤)

同年11月15日 杉山宅、県内各地区に代表者1名準備委員の選出を要請した。

その後、下越地区代表 渡辺清(中蒲原7団)新潟地区代表 藤塚大造(新潟7団)2名の選出報告があった。(杉山、遠藤)

2 SFS設立準備委員会の開催

2003年(平成15年)12月13日 第1回準備委員会
長岡市・阪之上公民館

出席者 杉山 晃・遠藤安一・大崎喜捷・
渡辺 清・藤塚大造 5人

2004年(平成16年)3月13日 第2回準備委員会
柏崎市・市民プラザ

出席者 杉山 晃・遠藤安一・大崎喜捷・
渡辺 清・藤塚大造

新委員

上越地区代表 安藤喜悦(新井1団) 6人

蒲原地区代表 鈴木伸吾(燕1団) 欠席

2004年(平成16年)9月16日 第3回準備委員会
長岡市・阪之上コミュニティセンター

出席者 杉山 晃・遠藤安一・大崎喜捷・
渡辺 清・藤塚大造・安藤喜悦 6人

※同年9月21日 県連スカウトクラブの登録の件で
日本連盟に照会

2004年(平成16年)12月5日 第4回準備委員会
長岡市・阪之上コミュニティセンター

出席者 杉山 晃・遠藤安一・大崎喜捷・
渡辺 清・藤塚大造・安藤喜悦 6人

※平成17年1月開催予定の県連理事会に、『新潟連盟SFS』設立認可要請のため詳細について、「SFS細則」再確認等、準備会議を開いた。

2005年(平成17年)1月16日 平成16年度第4回
県連理事会に、「新潟連盟SFS委員会設立について」要請文書持参し、承認頂きたい旨の
申し入れを行った。

同日、平成16年度第4回県連理事会において、「新潟連盟SFS委員会」の設立が承認された。

2005年(平成17年)1月28日 長岡市・遠藤宅

「新潟連盟SFS委員会」発足に向け、準備委員会から運営委員会に移行するための委員構成・日程等協議した。

(杉山・遠藤)

VIII 新潟連盟「スカウトフェローシップ」
設立準備 [※以下役職名は当時のもの]

1 2003年(平成15年)1月26日

副連盟長 鹿野 重 宅において、新潟地区委員長 杉山 晃、長岡地区委員長 遠藤安一、柏崎地区委員長 大崎喜捷の3人に「SFS」設立準備委員の要請があった。

同年10月18日 夏期行事も一段落したので遠藤宅にて、準備委員会立ち上げの打ち合わせを行った。県内スカウトクラブの実情調査、把握に努め

IX 「新潟連盟スカウトフェローシップ
委員会」発足

1 2005年(平成17年)3月6日 第5回準備委員会(最終)

長岡市・阪之上コミュニティセンター

出席者 杉山 晃・遠藤安一・大崎喜捷・
渡辺 清・藤塚大造・安藤喜悦 6人

組織 SFS 細則第5条

SFSの円滑な運営を行うため「運営委員会」を設ける
※準備委員会を運営委員会に移行し、構成役員は準備委員が留任し、次期より選挙とする。

- (1) 運営委員会委員長(SFS代表者) 杉山 晃
- (2) " 副委員長 遠藤安一・大崎喜捷
- (3) " 幹事 渡辺 清・鈴木伸吾・安藤喜悦
- (4) " 事務長 藤塚大造
- (5) " 会計 " (兼任)
- (6) その他必要な役務

2 2005年(平成17年) 県内各地区において SFS説明会を開催

- (1)4月 1日 事務局(県連事務局内にSFS席を新設)
- (2)4月17日「SFS委員会」発足について挨拶文書を地区委員長・各団宛に送付。
- (3)各地区において説明会開催。
 - ①4月17日 長岡地区総会・SFS説明会
長岡10団(カトリック教会)(杉山・遠藤)
 - ② 5月 7日 蒲原地区会議 "
弥彦神社 社務所 (鈴木・杉山)
 - ③ 5月17日 新潟地区特別集会 "
新潟市大畑少年センター (藤塚・杉山)
 - ④ 5月21日 下越地区総会 "
新発田市 魚喜久 (渡辺・杉山)
 - ⑤ 9月下旬 上越地区会議に出席し説明
秋山地区委員長宅 (渡辺・杉山・遠藤)
- ※ 柏崎地区は大崎副委員長が各団訪問説明
- (4)6月1日 新潟連盟SFS入会申し込み受付開始

3 その他・実施行事等・特記事項

- 2005年(平成17年)12月16日 第1回SFS懇談会
新潟市東中通 旬菜庵 (9人)
- 2006年(平成18年)2月18日 第2回SFS懇談会
(下越・蒲原地区)
新発田市地域交流センター(11人)
- " " 3月25日 第3回SFS懇談会
(長岡・柏崎・上越)
長岡市四郎丸コミュニティセンター(9人)
- " 7月25日 SFS委員会
新潟市大畑少年センター
- " 8月22日 第1回SFS委員会全体集会
新潟市クロスパルにいがた(18人)
SFS経過報告・事業計画概要の説明
杉山委員長
講演「14NJを終えて」井上県コミショナー
SFS通信第1号発行当日配付
- " 11月10日
新潟連盟副連盟長 鹿野 重氏 逝去。
- " 11月30日
SFS通信第2号 [追悼特集号発行]

X ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 結 語 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

【新潟連盟スカウトフェローシップ 誕生の経緯】

『温故知新』

(注釈:昔のことを研究し、新しい物事に適応すべき知識・方法を得ること)

1“英国スカウトフェローシップに学ぶ”(略記SFS)

- (1) 本来、英国のSFSは登録人口の増加対策でも、恩典の享受でもなく、スカウト運動への奉仕の場でありスカウト組織への登録を希望する人々への機会を提供することであった。
- (2) 恩典の享受ではなく、“ONE SKILL ONE PERSON” 一人一技能奉仕の発想である。

2 新潟連盟スカウトフェローシップ導入の理由

- (1) 21世紀を展望し得る抜本的「新潟連盟機構改革」により、新しい新潟県のスカウト運動を刷新し力強く推進したい。
- (2) **SFS導入の理由は下記の通り二つある。**
第一の理由:
1990年(平成2年)日本連盟教育規定の改正に伴い「スカウトクラブ」の導入が規定された。教育規定(現規程)によるスカウトクラブの設置条項は、任意団体であり各県連に対して、スカウトクラブの組織化は努力目標であり、会員の加盟登録も任意である。 目的・事業・資格などの明確さを欠いており、スカウト運動の展望が開けずスカウト・団の衰退に対応できない現状である。

※現行スカウトクラブ(英国でのスカウトフェローシップ)のグレードアップの必要があったのでSFSを新潟方式で組織したものである。

第二の理由:
機構改革に伴う規約改正により「役員の定年制・再任の制限」が実施された。スカウト運動の各種支援の理解と協力について組織上のニーズとして必要性が痛感され、役員・理事の定年後の奉仕活動の受け皿に繋げたものである。

弥 栄

2015年(平成27年)2月18日

遠藤安一

使用参考図書・資料

- *スカウティング フォア ボーイズ 1952年版
- * (財)日本連盟規定集平成13年版
- * 日本ボーイスカウト運動史 II 平成17年2月発行
- *スカウティング誌
- * (公財)日本連盟規程集平成24年版
- *新潟連盟50年史 平成14年6月発行
- *21世紀 B-Pは生きている平成18年8月発行
著者 鹿野重
- *新潟連盟年次総会資料(平成11年度～平成18年度)
- *英国スカウトフェローシップ研究レポート
鹿野重(平成16年)
- *新潟連盟SFS概要(説明会資料)

昨年11月に開催されたSFS委員会全体集會に於いて、井上理事長から紹介いただいた歌です。簡単なメロディです。ロズさむ歌、リーダー集會での歌などにいいと思います。

作詞作曲の三輪谷氏は金澤市の泉光院の先代住職で金澤合唱団の指揮者でもありました。BSソングの「名誉にかけて」の訳詞や、多くの大谷スカウトの歌の作曲や作詞をなされました。

私とスカウティング

三輪谷 訥 詞曲



I like Scouting. I like.	そこには - いつ - も	さ
I need Scouting. I need	そこには - いつ - も	う
I love Scouting. I love	そこには - いつ - も	す
I believe Scouting. I believe.	そこには - いつ - も	た



わやかな仲間	の	えがおが	
つくい仲間	の	ゆめが	あるから
ぼらしい人間	の	であいが	
しかな一人間	の	あゆみが	

しみじみと歌って下さい。深い想いを自由なテンポで私が私に聞かすように。そして一題毎に独白を感じたまゝ綴ってみましょう。(下記は一例) 歌の最後の「あるから」の譜は、1・3番が上、2・4番が下を歌えばよいと思います。

- 1 どんないやなこと、どんな困難なことにぶつかっても
いつも朗らかで不平をいわず男らしい笑顔を忘れない、
すがすがしいそんな仲間が好きなんです。
- 2 みんなスマートで誠実なんです。
「名誉にかけて」と誓う仲間の上に、すばらしいこれからの
夢があるんです。
- 3 誇らしい仲間たちと出遭った。そしてすごくあったかく
また厳しいお導きをたまわった諸先輩にもめぐりあえました。
語り合い励まし合い、そして練えられて今日の私があります。
有り難い本当に有り難いと思います。
- 4 帰命尽十方無碍光如来 み仏と私の共同作業。これが大谷スカウト！
ひとみを輝かせて私について来てくれるスカウト達。
私たちがこのスカウティングの道を正しく歩みつづける限り
平和な輝かしい明日がくと信じているんです。